



芦安中学校だより

第 3 号

校長 大石 浩雄

2025. 5. 21

☆修学旅行に行ってきました

4月29日(火)～5月1日(木)の2泊3日で3年生の修学旅行が実施されました。芦安中の修学旅行は、京都や奈良に2泊3日の日程で学習のために行くという大枠はありますが、見学場所や回り方などについては、基本的に生徒が自分たちで考え決定していくスタイルで行われています。取組と本番を通して主体性や仲間と協働する力を伸ばしていくためです。今回、生徒が実際に公共交通機関を使い、自分たちで地図を見ながら見学地をまわる様子を見ていて、自分たちの力だということを意識してよくやっていたと感じました。生徒達にはこの経験を今後の生活に役立ててほしいと思っています。



次はどうする？

教育活動の一つとして行う修学旅行には、家族旅行や観光旅行とは違い、「楽しい」だけでなく「学び」が求められます。人との関わりについての学び、日本の伝統や文化・歴史についての学び、社会のルールやマナーについての学び、困った時の対処方法についての学び等、3日間の中でたくさんの学びがあったと思います。3年生には、「楽しかった」で終わりにせず、その学びを旅行記としてまとめることを期待しています。



慎重に描きました

☆生徒会スローガン Growth (グロース:成長)

5月8日(木)の6校時に令和7年度の生徒会活動の方針を決める生徒総会が行われました。生徒数は少ないですが、生徒全員の合意形成をするための大切な会議でした。話し合いは、生徒会本部役員が事前に考えた原案について、他の生徒が自由に自分の意見を言う形で進められました。その中で2年生、3年生がしっかりと意見を出せていたこともよかったのですが、4月に入学したばかりの1年生がしっかりと自分の意見を言えたことには感心しました。ひとりひとりが自分事として考え、話し合い、決めたことに責任を持つ。こうした経験を通して社会に出たときに必要な力を身につけてもらい

たいと思いました。

今回の総会で、芦安中ならではの経験を通して成長していくという願いが込められた活動スローガン

「Growth」と、活動の柱として「伝統」「絆」「自主性」を、大切にしていこうといったことが確認されました。これから1年間、今日決めた活動方針に沿って生徒が頑張ってくれることで芦安中の魅力を高めてくれることを願っています。



自分事として考えることが大切です

☆登山のための全校集会

5月12日(月)の朝に7月に行われる全校登山のためのオリエンテーションが行われました。今年度は、林道崩落のためにここ何

年か行けていなかった仙丈ヶ岳への登山を計画しています。これから7月の全校登山に向けて体力トレーニングや自然環境についての学習、困難を乗り越えるための仲間づくり等が始まります。通常の教科の授業とは異なる学びの場面も多く、芦安中学校の大切な伝統でもあります。ただ登山をして帰ってくるのではなく、生徒にとって多くの学びのある取組にできるようにしたいと思っています。



仙丈ヶ岳について説明をうけました

☆学校林整備を行いました

前日夜から朝まで雨が降り、実施できるか心配でしたが5月12日(月)の午後、丹後沢上流にある学校林の整備を行いました。今回は、過去に植樹した木をシカの食害から守るためにつけていたシェルターのうち、破損したものや不要になったものを回収することを中心に行いました。参加した生徒達と協力してくださった保護者が広い斜面に散らばり積極的に回収を行ってくれました。何十



たくさん回収できました

年と続いているこの学校林整備も芦安中学校の伝統の一つと言えます。年に1回の活動ですが継続することで何十年後かの未来に貢献できる機会と考えることができるのではないかと思いました。

☆2年生が県内巡りに行ってきました

5月13日(火)に2年生5名が県内巡りに行ってきました。この日は天候にも恵まれ、昇仙峡周辺や恵林寺・武田神社・善光寺などを、公共交通機関を使いながら見学をして回りました。指導にあたった先生方からは、自分たちの力で見学地をまわろうとする主体的な姿が見られたと評価されていました。

今回実施した県内巡りは、山梨県内(国中地域)の歴史や文化について学習して



それに関連するような史跡や文化財を実際に見学することで深く学ぶことや、修学旅行での自主見学に向けた予行練習といったねらいがあります。1年生の頃から計画的に事前学習を積み重ねることで、ただ行って見てきたでなく、歴史や文化・伝統といったものの価値を知ることができたことと思います。この経験をいかして3年生で予定している修学旅行での学びにつなげていけるようにしてもらいたいと思います。

☆プール清掃をしました & 水泳の授業

5月15日(木)の6校時に芦安市民プールの清掃を全校生徒で行いました。このプールは学校の施設ではありませんが、体育の水泳授業において使わせていただいているものです。限られた時間でしたが、生徒たちはプールサイドや更衣室を中心に丁寧に清掃をしてくれました。今後、プールの可動床の点検を経て、貯水をして6月中旬から実際の水泳の授業が始まる予定です。



現代の水泳授業は、自己の技能や記録の向上を目指して仲間と協働・創意工夫することや水中での安全確保などが学習の中心となっています。泳ぎの上手下手は気にせず、自己の向上を目指して仲間と協働・創意工夫することや水中での安全確保をしっかりと学べるように、プール清掃と同様に意識を持って取り組んでほしいと思っています。

☆パイプオルガン演奏鑑賞会

5月16日(金)の午後、南アルプス市が行っているパイプオルガン演奏鑑賞会に参加し



ました。桃源文化ホールにあるパイプオルガンは単なる楽器ではなく芸術品とっていいような立派なものです。自分たちの住む地域の財産について生徒が興味や関心を持つきっかけになったらいいと思います。

☆全校道徳の授業と太鼓指導の研修会

5月19日(月)4校時に全校生徒が集まって行う道徳の授業がありました。「思いやり」をテーマに取り上げました。「思いやり」という言葉はよく聞く言葉ですが、実践することは簡単ではないと私は思っています。「自分は相手のことを思っている」という気持ちでも、相手にとっては嫌なこともあるからです。大切なことは「自分は相手のことを思っているのになぜわかってくれないのだ」という気持ちを持たない(=相手を悪者にしない)こと、「相手は自分のことを思ってくれているのかもしれない」と想像力をはたらかせる(=相手の意図を汲み取ろうとすること)だと思います。今回の授業をきっかけに「思いやり」について生徒の中に何か気づきが生じてくれたらよいと思いました。

同じ日の放課後に、小中教員を対象に太鼓の基礎的な指導についての研修会がありました。小学4年生以上が参加する太鼓



活動ですが、小中どの教員も児童生徒の太鼓活動について関わるができるようになるための企画です。中には初めて太鼓を叩いたという先生もいたようです。経験の長さや技術の有無など、人それぞれ違いはありますが、おそらく共通して感じたことは、「本気でやればおもしろい」ということだと思います。このことを児童生徒にも伝えてくれることと思っています。

5月6月はいろいろな行事や活動があります。生徒も教職員も体調管理には気をつけて！